



KES環境審査日が決定しました



本年度のKES環境審査の日程が決定しました。9月8日(火)午前9時～4時まで実施されます。本年度から審査をされる方がかわり、秋山健一氏が担当されます。例年通り、社員に対するインタビューも実施されると思われます。スタンダード6版に変更された最初の審査で、6版より「生物多様性の目標」が必須となったことを受けて当社では、「環境保全活動への支援」をテーマに掲げ、活動を展開しています。そうしたことから、生物多様性や生態系サービスに対する質問が出される可能性があり、もう一度環境情報誌の確認をお願いします。

ごみ問題を見直しましょう

水戸市が県庁所在地の中で、もっともごみの排出量が多い都市だと言われています。ごみ排出量を人口で割ると、一人当たり1,200gになるそうで一番少ない奈良市の1.3倍に達しています。持ち家率など、単純に比較はできないと思いますが、ごみが多いことは紛れもない事実です。ごみ減量の決め手はリサイクルの推進が不可欠です。紙類は大半のものがリサイクル可能です。表面についたビニール等をはがして、ごみの減量に努めましょう。



今月の生物多様性情報 偕楽園西の谷公園を散策し、貴重な葦の原があることを確認しました



偕楽園が世界で二番目に大きな都市公園であることは、以前お伝えしました。水戸に住んでいても「偕楽園」と聞くと、好文亭がある梅林だけを思い出しますが偕楽園公園は、南東側逆川沿いの笠原水道や、南西部の月池や四季の原、桜川そして、沢渡川、もっとも北側にあるのが西の谷公園で、まっすぐ進むと大工町方面につながります。このエリアは緑豊かで、手つかずの自然が残っています。地層学的にも重要な場所で、専門家のご意見によると、県北の日本最古の地層につながり、その始まりの場所になるとの説明でした。いまだに葦の原が自生する心地良い空間でした。開発優先で破壊されないことを祈るばかりです。

社長コメント ～ 本社工場照明LED化工事 ～



8月中に本社工場の照明をLEDに交換する工事を実施する。当社の電気使用量のうち、照明器具で消費する電力は、全体の20%程度で、LEDに交換することで、消費電力は75%程度低減される試算で、計画通りに行けば、全体の7～8%の低減が見込まれる。また、水銀を使用した製品の管理が厳しくなり、今後も照明のLED化は、避けて通れない道筋となった。

今月の環境用語



「一般廃棄物と産業廃棄物」

産業廃棄物とは、生産する工程の中で発生する廃棄物を意味し、当社では、モールド作業の廃材などがそれにあたります。金属のように有価で引き取られるものは、廃棄物とは呼びません。一般廃棄物とは、それ以外の廃棄物すべてを言い、正確には、事業系一般廃棄物と呼ばれ、家庭の廃棄物に混入させてはいけない規則になっています。少しでも削減できるよう協力願います。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	23,409kwh	23,846kwh	×	71,674kwh	70,635kwh	101%	↑
一般ごみの削減	70袋	69袋	達成	268袋	269袋	100%	↑
エコキャップを回収	934個	1,301個	達成	3,439個	4,488個	131%	↑
美化活動の実行	50%	0%	×	50%	0%	0%	↓
生物多様性保護支援	10%	10%	達成	30%	30%	100%	↑